

嚥下障害について

リハビリテーション科 言語聴覚士 福井 佐枝子



言語聴覚士の福井と申します。西宮市立中央病院には昨年6月から配属されました。現在リハビリテーション科の言語聴覚士は1名で対応しています。業務内容は主に摂食・嚥下障害や言語障害の患者さんへの嚥下訓練、言語訓練を行っています。今年6月現在までに約160名のリハビリテーション依頼がありました。特に8月は患者数が多くなりますが、脱水症状、心疾患や脳血管障害の増加、感染症などが背景にあると考えられています。また、医療技術が上がることで様々な病気の延命率が伸びる反面、臥床時間が長期化することによって嚥下障害を発症するケースが増加しています。近年、日本人の死亡原因として肺炎が第3位となっており高齢化の進む社会では今後も増えていくことが予想されます。

なぜ嚥下障害を発症するのかということは健康な人には想像しづらいですが、発声発語器官と摂食・嚥下器官は口腔から咽頭まで同じ通路であり、途中で気管と食道に分かれています。加えて人間は言語習得により様々な音を作り出せるよう、それらが構音器官として進化したため咽頭の容積が縦に拡大し、対して嚥下するときは喉頭をより高く引き上げるための力を要するようになりました。そのため他の哺乳類動物に比べ誤嚥を起こす可能性が高くなりました。元来言語障害を専門とする言語聴覚士が食事場面に介入するようになったのはこういった背景があるからです。

今後も増加しうる嚥下障害に備えるため、この1年間では病棟でのリハビリテーションにとどまらず主治医をはじめ看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士など他職種との連携を強化してきました。退院の際にはご家族様への指導も行っております。食事介助の際にはスタッフに介助法を周知するための掲示を徹底したり、伝達講習等も行ってきました。また、現場からの声をもとに栄養管理室と協力して嚥下食の改定に携わりました。

今後の展望としては、改定された嚥下食の有用性を介助に関わるスタッフ全体で共有し、患者さんの機能維持、回復に貢献できるよう努めていきたいと思っております。

地域医療連携医のご紹介



里皮フ科クリニック西宮北口院

左：關 万里 先生
右：本庄 智慧 先生

中津浜線を西宮市立中央病院から南に600m下った場所に今年3月皮膚科と小児科を併せ持つクリニックとして開院致しました。皮膚科は本庄智慧医師を中心に5名体制(女性2名、男性3名)、小児科は關万里医師を中心に2名体制(女性、男性各1名)で診療しております。小さなお子様からご高齢者まで女性男性問わず診療しております。西宮市立中央病院の皆様には入院や検査の際、いつも密な連携をして頂き大変感謝しております。

西宮市立中央病院だより

令和元年(2019年) 8月1日発行

Vol.182

〒663-8014 西宮市林田町8番24号 ☎0798-64-1515(代表)・☎0798-64-1540(地域医療連携室) FAX0798-67-4811・FAX0798-67-4896(地域医療連携室)
ホームページ <http://www.hospital-nishinomiya.jp/>

基本理念

市民に期待され、親しまれ、信頼される病院であるよう、

- 一、患者さま中心の心温かな病院をめざします。
- 二、医学の進歩に対応し、質の高い総合的な診療をめざします。
- 三、地域医療機関との連携、保健、福祉との協力のもとに市民の健康を守ります。
- 四、開かれた病院として、市民・医療関係者の生涯教育の充実に努めます。



地域医療支援病院の名称承認を受けました

院長 根津 理一郎



盛夏のみぎり、皆様にはますますご健勝のことと心からお喜び申し上げます。
当院は、患者の皆さんに高度な医療を安全に提供することも前提としつつ、経営の健全化を進める趣旨から経営改革プランを策定し、その取組に注力してまいりました。

その取組のひとつであります「地域医療支援病院」の名称利用を令和元年6月24日付で井戸兵庫県知事より承認いただきましたのでご報告致します。

「地域医療支援病院」には大きく4つの役割があります。紹介患者に対する医療の提供およびかかりつけ医への逆紹介、医療機器の共同利用の実施、救急医療の提供、そして地域の医療従事者に対する研修の実施です。

以前当院は逆紹介率が低く、クリニックとの顔が見える関係の構築が、名称承認に係る課題でありました。平成26年度に地方公営企業法の全部適用へ移行して以来、病院を挙げて取組んでまいりました結果、昨年度には逆紹介率が80%を超え、平成28年度に設けた連携医制度は6月現時点で196の医療機関様にご登録頂いている状況です。

また過去には、当院単独の移転・新築が計画されておりましたことから、大型医療機器(リニアック、MRI等)の更新も控えざるを得ない状況でありましたが、平成26年度以降は県立西宮病院との統合新病院の開院を見据え、安心で安全な医療を提供すべく、共同利用も視野に入れるなかで、大型医療機器の更新に加え、ダヴィンチ(手術支援ロボット)も新規に導入し、微力ながら地域医療の水準向上を図る一翼を担える状況になったものと自負しているところです。

平成31年1月には皆様も既にご存知のように、県立西宮病院との統合に向けた基本協定が知事、市長並びに県・市病院事業管理者により締結されました。今後は、同じく地域医療支援病院の承認を受けておられます県立西宮病院とともに地域医療の水準向上に努めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、阪神南圏域の医師会のみならず、阪神北圏域であります、三田市・川西市・伊丹市・宝塚市の各医師会ならびに当院地域医療支援病院運営委員会委員の就任にご承諾賜りました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

2019年8月

西宮市立中央病院 診療科・診療担当医一覧表

※ 外来診療受付時間 月曜～金曜 午前 8:30～11:00 (初診・再診) 午後 1:00～3:00 (予約・専門外来)

〒663-8014 西宮市林田町8番24号 ☎ 0798-64-1515(代表) 〇 各科責任者 () 内線番号

Table with columns for departments (内科, 外科, etc.) and days of the week (月, 火, 水, 木, 金). It lists the names of the attending physicians for each department and day.

Table with columns for departments (内科, 外科, etc.) and days of the week (月, 火, 水, 木, 金). It lists the names of the attending physicians for each department and day, with some cells containing specific notes or conditions.

● 患者さんのご紹介について 地域医療連携室(内線 186)

○地域医療連携室へ当院所定の「診療情報提供書」をFAXでご送信ください。予約日と時間を「受診予約票」にて、FAXで返信いたします。予約なしで御来院いただくよりも待ち時間が少なくなります。

(FAX) 0798-67-4896

受付時間 平日 8:30～19:00 土曜 9:00～12:00

○当院の医師に直接お電話くださるか、従来どおりの紹介状によっても診察いたします。その場合、午前11時までに1階正面玄関受付へ来ていただくよう患者さんにご案内をお願いいたします。

○紹介状をお持ちの患者さんも、事前に予約を入れていただきますと、待ち時間短縮につながりますので、ご協力をお願いいたします。

○当院の診療結果を郵送等でご報告いたします。

● 救急体制のご案内 ～平日の夜間及び土曜日をご紹介を承っております～

Table showing emergency services by day of the week (月曜日 to 土曜日) and department (小児科, 外科, 内科). It specifies the time ranges for emergency care.

※ ■ (網掛け部) は、診療所のバックアップを目的として、当院が輪番枠とは別に独自に行っている2次救急です。

※ □ (網掛け部以外) は、輪番で行っている1次・2次救急です。 ※金曜日の内科・外科2次救急に関しては、月によって輪番を担当する週が変わる場合があります。

● 糖尿病教室のご案内

医師をはじめ医療関係者が説明を行います。予約や受講料は不要です。

<実施日時> ・奇数月：水曜日 (月4回) ・偶数月：木曜日 (月4回) 午後3時～午後4時30分頃

<実施場所> 3階 講義室